

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3373700446		
法人名	有限会社 真殿製材所		
事業所名	グループホーム 北山		
所在地	岡山県美作市北山1414		
自己評価作成日	平成24年12月 1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利法人 高齢者・障害者生活支援センター		
所在地	岡山市北区松尾209-1		
訪問調査日	平成25年 2月 20日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当グループホームでは所在する近隣地域との関わりを密に持ち、家庭的な雰囲気の中でサービス提供を行い個人が持つ能力を生かすことを目的とした生活支援を行っています。また立地としては有限会社が運営をする単独施設であることを長所として迅速な対応を行い、短所を補うべく近隣の介護サービス提供施設や医療機関や各種社会資源との連携を密にとり、必要な情報などを有効に取り入れて連携の拡大や状況の改善を図ります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

職員は地元の方を多く採用しています。そのため地域に詳しく利用者の今までの生活が理解しやすく、利用者も親しみがわきやすく、なじみの関係ができています。釣った魚や野菜を持って来てくれたり畑の野菜を取りに来るように声を掛けてくれるなど近所の方々との交流もできています。母体の製材所の大工さんが、利用者や職員の使い勝手がいいように、その都度施設内を改良してくれ生活環境への工夫も窺えました。薬局との連携がよく、薬を配達してくれたりまた医師に情報提供をしてもらえることもあります。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎月の職員会議やミーティングにて振り返りを行い、全職員が共有しサービスを提供している。『初心』を忘れないように共有している。	事務所の中で見えやすいところに理念を置いています。 最初に掲げた理念と現在とは、利用者の高齢化と重度化が進みそぐわなくなってきたので、理念の変更を考えています。	理念の根幹を変えることなく、現状に沿った内容に変更して理念と現状が一致することを期待します。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	買い物や散歩など周辺地域への積極的な外出や交流をはかり、近隣の方は季節を感じる野菜をいただくなど身近な交流をしている。また地域の夏祭りや神社の行事、近隣小学校運動会への参加を行っている。	小学校の運動会への参加(高齢化と重度化が進み以前より参加される方が減ってきている)や婦人会からの誘い、近所の方から野菜の差し入れなど地域との交流が行われている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地区の社会福祉協議会主催のボランティア体験事業などの受け入れを積極的に行い、地域や学生への啓蒙活動を行っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	隔月ごとに年6回の会議を開催し、ホームの現況や外出状況等の活動を報告し、委員から運営への助言や意見を求めている。	自治会長、婦人会等地域の団体が参加しています。家族の方も全員の方が参加できるように輪番制にして参加してもらっています。会議参加者からの情報提供が乏しいのが現状です。	地域・家族からの情報収集に加え運営推進会議を当施設内のフロアで行っているため、一般職員も業務の合間で参加する機会が持てることを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	美作市保健福祉部高齢福祉課や包括センターと必要に応じて情報交換を行っている。	市の担当者が主になって質問に対してすぐに返答できる関係になっています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施錠や介護着の使用など拘束行為を行わない為に寄り添いケアを行っている。またマニュアルや研修報告により情報を共有することで職員に徹底している。また近隣地域の方にも理解を求め、声掛けや連絡など関係作りを行っている。	職員会議の時に身体拘束について話し合っています。 研修等も全員に伝達しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	各種研修会への参加を職員に促し、職員会議時に復命させることによって情報の共有を図っている。また職員間で注意しあえる関係作りを目指している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設外での講習会や研修会への参加、職員会議での復命、資料の回覧などにて共有を図っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては本人・家族より希望や要望を伺い、契約内容を十分に説明している。また入居後においても随時不安や疑問に対応している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族には電話や訪問時に意見や要望を確認している。また意見の言いやすい間柄になるよう努力している。	家族には随時連絡を取って現況を知らせています。遠方の家族から宅急便で衣類を送ってもらったりもしています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月定例で職員全員参加の職員会議を行っている。経営代表者(有限会社代表)も参加して、職員意見の反映や希望聴取を行っている。	職員から会議で活発な意見がよく出ています。行事の企画立案も参加しています。男性職員が各棟に二人おり、積極的に参加しています。	職員の意見を管理者と全職員で検討し実現に向けて取り組まれる事を期待します。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員会議や職員個人面接などを実施して、業務内容の把握や悩みの収集に尽力している。また職員の資格取得にも積極的に支援をしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修にはなるべく多くの職員が参加できるように配慮している。また受講した研修については会議やミーティングで復命をし情報の共有を図っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域内研修や地域内行事の参加支援により他事業所との相互交流をし、情報交換や共有を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前面接や担当CMからの情報提供等から、安心して生活に馴染めるよう入居前情報の聴取に努め、信頼関係を築いている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族と入居者の『こうあって欲しい希望』を介護計画に盛り込んでいる。計画の提示については明瞭言語の使用など信頼を得られるように努力している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	関係機関との連携により、必要に応じた柔軟な対応ができるよう体制作りをしている。また「その時」に必要に応じては他事業所の紹介も行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護サービス提供時以外の時間には協同作業などを行い、コミュニケーションを密にし信頼関係が築けるよう努力をしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との連絡を密にし、本人のニーズを家族と共に共有し生活支援を行っている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	可能な限り馴染みの店や馴染みの人との関係を継続できるように支援しており、外出時には周辺を通過できるように援助しています。	馴染みの店へ買い物に出かけています。地元の職員が生まれた子供を連れて来たり8年になる利用者もおられ、地域との馴染みと施設での馴染みも出来ている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者間の相関を把握し、職員が緩衝役になりながら新しい人間関係の構築を支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も家族や親族が入居時と変わらずに訪問しやすいように努めている。近隣施設への異動については面会に伺うなど関係性の継続に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	傾聴や寄り添いによりコミュニケーションを図り、本人の思いを知る努力をしている。困難な場合には個々の職員の気づきを集めるよう情報収集している。	地元の方を多く採用しているので地域のことがよく分かっており、利用者となじみやすい環境です。利用者の思いを会話の中から吸い上げた例として、家族のことを話すと嬉しそうにする方には家族に会うプランを立てました。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	安心して生活に馴染める様に入所前情報の把握に努め、入居前生活の継続ができるように努めている。また生活のなかで職員が入手した情報は共有できるように心がけている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送りや記録から生活の把握に努め、より効果的な声かけや対応ができるように職員間での情報を共有している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族からの情報収集に努め、日々の気づきを申し送るなかから意向などを探っている。特に何気ない本人の言葉を大切に介護計画を作成しています。	プランは各棟の計画作成担当者が立て、分かりやすい内容になるよう気を付けています。日常的にプランに対して職員から意見をもらっています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録と同様に、職員の気づきを申し送りとして明文化し、閲覧できるよう情報共有を図っている。また実践における気づきも申し送りとして明文化するようになっている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	既存のサービスに捉われないアイデアや柔軟な発想を生かす努力をしている。気づきからくる取り組みを大切にしている。また試行錯誤のなか同じ問題に立ち返ることもある。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事や学校行事への参加を積極的に行い、暮らしの中の楽しみを得られるように支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	近隣医療機関の嘱託医は隔週での定期的な往診医療を受けられる。また随時の電話相談や受診予約が可能である。更に緊急時には時間外でも対応可能であり、適切な指示を受けられることができる。	嘱託医への受診には職員が付き添い、専門医は家族に協力をお願いしています。2週間に1回往診があります。薬は薬局が配達してくれます。薬局が医師に情報提供をしてくれます。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	必要に応じて訪問看護ステーションへの相談や指示を受けることの体制にある。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には家族との連携を密に行いながら、本人の必要情報を速やかに医療機関に提供している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居者の些細な身体状況の変化を面会時や電話など随時報告を行っています。その経過や重症度などを家族と都度協議し、方針を決定し共有している。	看取りは医療看護体制が整っていない為今は行っていません。 今の施設で出来ることをよく理解して、無理のない対応を心がけています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時は連絡の体制など、マニュアルに沿って対応できるよう周知を図っている。また定期的に近隣消防署の協力を得て、救命救急技術講習を受け、蘇生法等の訓練を受けている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防火点検日報にて火元確認などを厳重に行っている。また避難経路となる部分には障害物がないように日々確認を行っている。	消防体制についてはスプリンクラー等十分にハード面はクリアしています。 消防署員に来ていただき定期的に講習や訓練を行っています。	身近な火災訓練と天災による避難・災害対策について日頃から防災への意識を高めていかれる事を期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格尊重の観点から、個人への声かけも周囲への配慮を行っている。また記録物等、個人情報については所定場所への保管の徹底など	尊厳を守りさりげない声かけ等に気を付けています。 職員同士よく尊厳について話し合っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	可能な限り持っている能力を発揮できるように努めているが身体状況や精神状況の変化に伴い、自己決定が困難になる場合がある。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるもののこのペースを大切にしている。ゆったりとした時間の中で生活できるように配慮している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日頃からお化粧品などを個々の能力に応じて行っていただいている。また入居前の馴染みの美容院の利用など個別の対応を行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	買い物参加が可能な方は食べたいもの等を一緒に探し、献立に取り入れられるように援助している。	献立をはっきり決めず地域の方が持ってきて下さる食材とその日のあるもので調理したり家族との外食や秋祭りにはさば寿司を作るなど食事を楽しむ支援がなされています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の身体状況や嚥下状態等を加味しながら個別に形態や形状、時間などを工夫しながら食事を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後と起床時、就寝前には義歯の有無、自力での口腔ケア能力を加味しながら個別の援助を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定時誘導と随時誘導を行いながら個々の排泄支援を行っている。また排泄時に使用する使用物品については会議や申し送りで情報共有をしている。	その人に合ったレベルでパット・パンツおむつを使用しながら自立への支援に取り組んでいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個別記録を基に、食事量だけではなく咀嚼能力や水分摂取量を勘案し排便コントロールに努めている。必要に応じては嘱託医に相談し緩下剤も使用し便秘の解消に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ある程度の時間の幅の中から個別に入浴を行っていただいている。夜間の入浴については現在なし。	以前は毎日入っていましたが、現在は安全確保と利用者の体力に合わせています。2～3日に1回の入浴で汚れた時など現況に応じて入浴支援を行っています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人の意向を尊重しながら必要に応じて昼寝などの休息をとっていただいている。なかなか眠れない方には見守り等、個別にかかわっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の内用(外用)薬を把握し、注意事項を明文化し共有している。変化の把握については明文化された記録を個々が確認するようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の能力を活かし生活ができるように支援している。個別の関りについては、買物外出や散歩など必要に応じては個人を対象として行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	事故防止に努めながら、外出等を行い気分転換を図っている。また昔馴染みのところへの外出はご家族に依頼するなど協力をいただいている。	元気な方は買い物や支払などの機会を利用して一緒に外出し気分転換をはかっています。又、家族が面会に来た時に外食と一緒に行ってもらうよう協力をお願いしたり日常的な外出の支援に努めています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在金銭の所持者はいないが、金銭所持や金銭使用についての体制はある。入居前より金銭管理を家族に委任しているケースが多い。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人よりの希望があれば個別に電話をかけるなどの関りを行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	お正月飾り・節分・ひな祭り等、ちぎり絵や装飾物品にて季節感を感じることでできる生活空間を演出している。穏やかな日差しの季節には軒先でお茶にしたりと緩やかな時間の流れの中で生活をしていただいている。	利用者の使いやすい配置でなじみの物を取り入れています。 装飾も季節を取り入れながら居心地よく過せる雰囲気づくりがなされていました。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	屋外のベンチや食事時以外のホールの過ごし方などは自由に移動していただく事が可能である。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	新しい準備品が多いなか、馴染みのものを自室に置いたり、写真を貼ったりと穏やかに過せる様にご家族と共に環境作りをしていただいている。	馴染みの物を居室に取り入れ、今までの生活が継続できるような環境になっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホームの中には常に整頓と清潔に努めており、誤認・混同に繋がらない様配慮している。また事故防止から、障害となりうる物品を通路に置かないように配慮している。		